

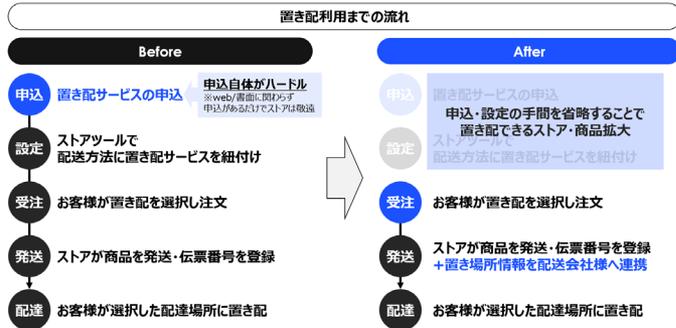
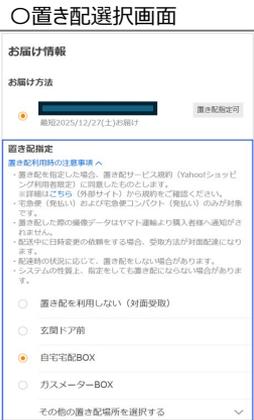
# ECモールでの注文時における置き配等の配送方法指示に関する実証事業 <結果概要> (LINEヤフー株式会社)

## 事業の目的

- ・ECモールの利用者がより簡単に置き配を利用できる仕組みを整備し、ユーザー利用の拡大、再配達率の削減を目指す

## 取組内容

- ・ECモール内に置き配利用可能ストアを設定し、置き配注文仕様、開発要求事項をクリアしたシステムを開発してリリース
- ・ユーザーが配達時の受け取り形態として「置き配」を利用できる環境を提供  
(右図：置き配の選択画面(例)参照)
- ・2025年12月の約1か月間実証実験を実施
- ・導入前後での置き配選択率や再配達率の削減(ドライバー負荷軽減効果)の動向を検証



## 実施体制

- ・LINEヤフー(株)
  - 「注文時置き配」選択機能の開発、実証効果の分析等
- ・配送事業者
  - 置き配リクエスト情報の受取・配送連携システムの開発
  - 「注文時置き配」の実施(配達)、データ取得

## 事業の成果

- ・システム改修を完了した。改修済システムを利用したYahoo!ショッピングでの置き配表示、置き配情報連携を実装
- ・「注文時置き配」選択可能率※：17.6ptの増加  
(※置き配の選択肢が表示された注文数÷配送事業者の配送の注文数)
  - ECモールで販売されている商品の内、メール便や冷凍食品などの置き配サービスに馴染まない商品(ストア)については、当該実証の「置き配表示」は表示されない。また、システム連携した特定の物流事業者が配送する商品(ストア)が本件の対象となっている
  - 今回のシステム改修を通じて、ECモールのストア側で置き配選択環境を了承した商品の内、実際に注文された場面で、「配送事業者の配送方法の選択注文数」に対して、置き配の選択肢が表示された注文数」の割合は、実証前後で17.6ポイント上昇することができた

## 事業の効果 (KPI)

- ・「注文時置き配」選択率※：5.1ptの増加  
(※実際に置き配が選択された注文数÷配送事業者の注文数)
- ・再配達率の削減効果：0.2ptの削減  
(※実証実験前と実験中の再配達発生率の削減ポイント)
  - 上記のECモールでの置き配選択環境の提供により、実証実験前と実験中では置き配選択率が5.1ポイント上昇し、その結果、再配達率も0.2ポイント減少している。ドライバーの再配達に係る稼働時間で置き換えると、月当たり数百時間の負荷軽減効果を獲得した

## 成果の活用可能性と課題、今後の展望

- ・注文時置き配の選択可能率および選択率は、共に実証事業前から大幅に伸長
- ・他配送会社様とも同様の取り組みを行うべく、順次提案を行い、賛同いただいた場合には本取組を横展開していく